

**授業概要**

子どもの豊かな言葉を育む遊びや活動を構想し、具体的な実践方法を習得できるよう指導する。具体的には、まず、子どもの言葉の発達及び、領域「言葉」のねらいや内容に関する知識と、子どもが抱える現代的な課題の把握を行う。次に、授業での遊びの経験をもとに、子どものイメージや空想を喚起する遊びや活動を考案し、指導案を立案できるよう指導する。

**授業計画**

Gはグループワーク、Dはディスカッション

第1回	オリエンテーション、領域「言葉」と現代的な課題 【遊び】「たんたん連想ゲーム」
第2回	子どもの発達と領域「言葉」 【遊び】「うそっこ自己紹介」
第3回	絵本と保育（物語絵本と科学絵本）【演習】絵本から活動を構想し発表しよう（G・D）
第4回	絵本の読み聞かせの工夫 【演習】発達を考慮した工夫のある読み聞かせ（G・D）
第5回	子どもの絵と言葉（子どもの作る絵本） 【演習】簡単な絵本を創ろう（「くろまる絵本」）
第6回	くろまる絵本発表会（相互評価とディスカッション）
第7回	言葉とイメージを育む即興的な遊び【遊び】「額縁の絵」「おはなしづくり」（G）
第8回	ごっこ遊びと劇遊びの違い、留意点（D）【演習】『かいじゅうたちのいるところ』と遊び（G）
第9回	ごっこ遊びの立案①構想の方法【演習】ごっこ遊び『おっきょちゃんとかっぱ』
第10回	ごっこ遊びの立案②ごっこ遊びと子どもたちの言葉【演習】指導案の下書きシートの作成
第11回	ごっこ遊びから劇遊びへの導入【演習】ごっこ遊びをもとにした脚本作成
第12回	こどもの劇表現（演出、音楽、身体表現）と言葉【演習】脚本の上演に向けた準備
第13回	劇遊び発表会（脚本の上演と相互評価による学び合い）
第14回	言葉を育む活動と遊び（まとめ）、指導案の立案①活動の方法と手順、環境図
第15回	指導案の立案②相互評価と改善（G・D）
第16回	筆記試験

**到達目標**

- 子どもの言葉に関わる現代的な課題を正確に捉え、解決策を自分なりに考察できる。
- 発達を踏まえて、子どもの豊かな言葉を育む遊びや活動を立案できる。
- 子どもの主体的な遊びや活動の具体的な展開方法を習得できる。

**履修上の注意**

- 授業毎に子どもの遊びの紹介（実際に遊ぶ）がある。積極的な気持ちで参加すること。
- 授業の最初に前回授業で学んだことを質問する。復習をしておくこと。
- 遅刻は20分以内までとし、遅刻3回で欠席1回とする。

**予習復習**

- 予習：授業で行った遊びや活動のノートを読み返し、説明できるようにしておく。
- 復習：①授業のノート、資料を読み返す。②授業で行った遊びや活動をノートに記録しておく（遊びの手順、内容、年齢、環境図など）。③授業で紹介された絵本を「絵本ノート」（授業時に作成の方法を指示する）に記録する。

**評価方法**

- 授業への参加度・発表：30%、提出物：30%、筆記試験：40%

**テキスト**

- 保育所保育指針
- 幼稚園教育要領
- 授業時に配布する資料